

安全データシート

改訂日:2022年8月23日

1. 製品及び会社情報

化学品の名称
推奨用途
会社名
住所
電話番号

酸化鉄(Ⅲ)
試験研究用
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
CA0300

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類
健康に対する有害性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性:区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分1(呼吸器系)

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
呼吸器への刺激のおそれ
長期又は反復ばく露による呼吸器系の障害

注意書き

【安全対策】
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
粉じんを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】
容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。

【廃棄】
内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名
別名
化学式
化学物質を特定できる一般的な番号
含有量
官報公示整理番号(化審法、安衛法)
その他

化学物質
酸化鉄(Ⅲ)
酸化第二鉄, 弁柄
Fe₂O₃
CAS RN: 1309-37-1
97%以上
(1)-357 / 公表
HSコード: 2821.10

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚を速やかに多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

医師に連絡すること。
口をすすぐこと。

予測できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状

吸入:咳
眼:発赤

5. 火災時の措置

適切な消火剤	本製品は不燃性である。周辺火災に適応した消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	該当情報なし。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
	移動不可能な場合は容器に注水して冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め、適切な化学用保護衣を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立入りを禁止する。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や粉じん、ミストの吸入を避ける。 風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	危険でなければ漏れを止める。 漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気装置、全体換気を行なう。
安全取扱注意事項	接触、吸入又は飲み込まないこと。 眼に入れないこと。
接触回避	「10. 安定性及び反応性」を参照。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 容器は、換気の良い涼しい所で保管する。 混触危険物質、可燃物から離して保管する。 施錠して保管する。
容器包装材料	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	第2種粉塵(吸入性粉塵1mg/m ³ 総粉塵4mg/m ³)
ACGIH	TLV-TWA 5mg/m ³
設備対策	空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。 高熱工程で粉じん、ヒュームが発生するときは、空気汚染物質を許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。 安全眼鏡を着用すること。撥ね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること
皮膚及び身体の保護具	保護衣、安全靴等の保護具を着用する。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	粉末
色	赤褐色
臭い	無臭
融点/凝固点	1565°C
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当情報なし
燃焼性	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	不燃性
引火点	不燃性
自然発火温度	不燃性
分解温度	該当情報なし
pH	該当情報なし
動粘性率(粘度)	該当情報なし
溶解度	水に不溶
n-オクタノール/水分配係数	該当しない
蒸気圧	該当しない
密度及び/又は相対密度	5.25
相対ガス密度	該当しない
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	該当しない
10. 安定性及び反応性	

反応性、化学的安定性	常温、常圧下では安定。
危険有害反応可能性	次亜塩素酸カルシウムと接触すると反応する可能性がある。
避けるべき条件	高温、混触危険物質との接触。
混触危険物質	アルミニウム、酸化エチレン、塩素酸カルシウム。
危険有害な分解生成物	該当情報なし。
11. 有害性情報	
急性毒性	経口： 該当情報なし 経皮： 該当情報なし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	吸入： 本物質は固体で蒸気圧はほとんど無視できるため、吸入試験は粉塵で(粉塵)行われたと考えられる。LC ₅₀ 値が得られた試験がないため、データ不足で分類できないとした。 ヒトで発赤が生じ、moderateな刺激性がある(ICSC(J)(2004)、IUCLID(2000))との記載に基づき、区分2とした。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ヒトでcorrosive(IUCLID(2000))との記載に基づき、区分1とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器： 該当情報なし 皮膚： 該当情報なし
生殖細胞変異原性	in vivoの試験結果が無く、in vitroで複数指標の強い陽性結果が無いことに基づき、技術指針に従い分類できないとした。
発がん性	ACGIHでA4に分類されていることに基づき、区分外とした。
生殖毒性	該当情報なし
特定標的臓器毒性(単回暴露)	ヒトで咳が見られ、息苦しさもあるとの記載(ICSC(J)(2004)、IUCLID(2000))に基づき、区分3(気道刺激性)とした。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	ヒトで胸部X線所見に異常を生じるが、臨床的に問題はないとの記載(ACGIH(2001))、および肺に蓄積すると鉄症になるが、良性のものであり線維症に進展しないとの記載(ACGIH(2001))がある。また、暴露により金属熱にかかることがあるとの記載(IUCLID(2000))がある。良性ではあるが肺への影響が見られたこと、および金属熱にかかる可能性があることから、区分1(呼吸器系)とした。
誤えん有害性	該当情報なし
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期： 該当情報なし(急性) 長期： 該当情報なし(慢性)
残留性・分解性	該当情報なし
生体蓄積性	該当情報なし
土壤中の移動性	該当情報なし
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国連番号	—
品名(国連輸送名)	—
国連分類	—
容器等級	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	—
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
消防法	危険物に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(第57条及び施行令18条、第57条の2及び施行令18条の2)[酸化鉄] 危険性又は有害性を調査すべき物[酸化鉄]
水質汚濁防止法	指定物質
16. その他の情報	
参考文献	NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP) 16615の化学商品(化学工業日報社) 職場のあんぜんサイト(厚労省HP)

NITE-GHS分類結果(製品評価技術基盤機構HP)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。